

平成 24 年 9 月吉日

日本放射線技術学会中部部会
放射線防護&画像合同研究会

「IEC の提案する線量指標は本当に使えるか」

従来、デジタル画像の撮影線量の指標として感度指標が用いられてきた。感度指標は装置メーカー毎に、あるいは装置毎に定義が異なるため、標準的な指標として使用できていない。国際電気標準会議(International Electrotechnical Commission: IEC)は、種々の感度指標を統一された新たな線量指標(Exposure Index: EI)に変換する手法を 2008 年に IEC 62494-1 で提案した。本学会においては、2010 年度の「デジタル画像の画質と被ばくを考慮した適正線量の研究班」において撮影線量の適正化における EI の有効性が確認され、第 38 回秋季学術大会以降、今後のデジタル撮影の重要なテーマとして取りあげられている。

本研究会では EI を放射線防護および画質管理の観点から解説し、臨床現場で導入するための課題について討論する。

日時：平成 24 年 10 月 21 日(日) 13:00-15:00

場所：名古屋第二赤十字病院 3 病棟 B1 第 3 会議室 (研修ホールではありません)

地下鉄 名城線「八事日赤」下車 ②番出口

会費：無料 (非会員は 1,000 円)

開会の挨拶(13:00-13:05)

藤田保健衛生大学病院 小林謙一

教育講演

座長 名古屋市立大学病院 東出 了

金沢大学医学部附属病院 能登公也

教育講演 1 (13:05-13:50)

「放射線防護・計測分野の観点から線量指標を読み解く」

演者 名古屋第二赤十字病院 有賀英司

教育講演 2 (13:50-14:35)

「画像分野の観点から線量指標を読み解く」

演者 名古屋市立大学病院 國友博史

討論(14:40-14:55)

閉会の挨拶(14:55-15:00)

会場案内図



- 駐車場料金の割引等はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 第3会議室は研修ホールの地下になります。